

第 35 回 安全設計指針検討会 議事録

1. 日 時 2021 年 1 月 28 日 (木) 9:30～11:30

2. 場 所 WEB 会議 (ホスト：日本電気協会 D 会議室)

3. 出席者 (敬称略, 順不同)

出席委員：板東主査* (東京電力 HD), 山本副主査 (北海道電力), 田中 (東北電力), 泉 (中部電力), 森本 (北陸電力), 木村 (関西電力), 神崎 (中国電力), 西紋 (四国電力), 山崎 (九州電力), 瀧川 (日本原子力発電), 大口 (電源開発), 二神 (JAEA), 鎌田 (JANSI), 荻野 (三菱重工), 織田 (日立 GE), 田澤 (富士電機)

代理委員：及川 (東芝 ESS・佐藤委員代理)

説明者：長谷 (北海道電力), 河村 (東芝 ESS), 田中 (三菱重工)

事務局：平野 (日本電気協会)

*：本検討会で主査に選出

4. 配布資料

資料 No.35-1-1 安全設計指針検討会 委員名簿 (2021-1-15)

資料 No.35-1-2 原子力規格委員会規約 (分科会規約 検討会部分抜粋)

資料 No.35-2 第 34 回 安全設計指針検討会 議事録 (案)

資料 No.35-3-1 JEAG4612 「安全機能を有する電気・機械装置の重要度分類指針」に関する委員コメントの意見と対応 [原子力規格委員会分] (3 回目：6/22)

資料 No.35-3-2 JEAG4612 「安全機能を有する電気・機械装置の重要度分類指針」に関する波木井委員反対意見と対応案

資料 No.35-3-3 JEAG4612 「安全機能を有する電気・機械装置の重要度分類指針」改定案 (DB 編)

資料 No.35-3-4 JEAG4612 「安全機能を有する電気・機械装置の重要度分類指針」改定案 (SA 編)

参考資料-35-1 JEAG4612 改定スケジュール

参考資料-35-2 原子力規格委員会規約類の改定内容抜粋

5. 議事

(1) コンプライアンスについて

事務局より, 我が国の独占禁止法, 外国の競争法に対するコンプライアンス遵守のため, 本検討会においても競争法上問題となる話題については, 話し合わないよう協力をお願いがあった。

(2) 定足数の確認, 代理出席者の承認について

事務局より, 代理出席者 1 名の紹介があり, 副主査の承認が得られた。本日の出席委員は代理を含めて 17 名であり, 委員総数の 3 分の 2 (11 名) 以上の出席という検討会決議条件を満たしているとの報告があった。

また, 事務局より, 本日の説明者 3 名の紹介があった。

(3) 主査の選出について

事務局より、資料 No.35-1-2 に基づき、主査は委員の互選で選任されるとの説明があった。主査候補の推薦を求めたところ、板東委員を主査候補とする推薦があった。他に候補がないことを確認の後、挙手にて、板東委員を主査に選任した。

また、板東主査から、副主査として山本委員の指名があり、山本委員は受諾した。

(4) 委員の変更について

事務局より、資料 No.35-1-1 に基づき、新委員 3 名の紹介があった。

(5) 前回議事録

事務局より、資料 35-2 に基づき、前回議事録の内容説明があった。コメントなく承認された。

(6) JEAG4612「安全機能を有する電気・機械装置の重要度分類指針」に関する委員コメントの意見と対応について

資料 35-3-1～4 により説明があり議論を行った。主なコメントと回答は以下の通り。

✓ 資料 35-3-3 P1-2

- ・関連規格の年版を記載しないとのことであるが、ルール上問題ないか。
→関連規格については、最新版について内容を確認したうえでその年版を記載するのが原則。但し、国のエンドースの関係等から、過去の年版を引用するケースもある。
→原則どおり、最新版の年版を記載することとする。
→但し、JEAG4611 は NUSC の付帯条件から JEAG4612 と同時期に公衆審査を行うことになり、関連が深いことから、JEAG4611-202X と記載し、JEAG4611 側も JEAG4612-202X と記載する。

✓ 資料 35-3-3 P1-11 第 3 表

- ・MS-2 の「自然現象に対する設計考慮」 2.地震・津波以外の事象のカッコ書き部分の記載事項は(2)に掛かるべきであるが、標記上(1),(2)両方に掛かっているように見えるため、カッコ内の冒頭に「ただし、上記(2)項については特に自然現象…」と明確にしたほうがよい。
→修正する。
- ・また同、(2)の記載「大きな影響を及ぼすおそれがあると想定される自然現象…」部分で修正された内容について、本文側に対応箇所である 1-6 (2) (C)「予想される自然現象のうち最も過酷と考えられる…」側への修正漏れがある。
→本文側を修正する。

✓ 資料 35-3-2 P3

事務局より、「1. 目的」に「保全」の記載が追加された過去の経緯について、その後の調査の結果、第 14 回検討会の資料にも「保全」の記載が入っていないことが確認できたため、資料を修正するとの説明があった。

(7) JEAG4612 改定スケジュール

参考資料-35-1により、今後考えられる主なケースのスケジュール説明があった。

- ✓ JEAG4611 は 3 か月以内に公衆審査入らない場合はどういう扱いになるか。
→NUSC での再審議が必要となる。

(8) 今後の対応について

主査より、本検討会でのコメントの反映・修正は主査一任とし、反対意見者への説明、反対票の取り下げの交渉を主査が行い、参考資料-35-1 のスケジュールにて進める旨の説明があり、全員の賛成をもって承認された。

(9) その他

- a. 誤記チェックについては、改定案の修正版について実施することとし、詳細は別途連絡する。
- b. 参考資料-35-2 により、原子力規格委員会規約の改定（規格制改訂時における最終版電子データの取り扱い等）について紹介があった。

以 上